

NEWS RELEASE

株式会社 すららネット
2020年6月10日

**無学年式 AI×アダプティブラーニング「すらら」
通信制学校向けオンラインセミナーを6月26日に開催
～ICTを活用した新しい学びのカタチと今後の展望～**

株式会社すららネット（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：湯野川孝彦）は、通信制学校向けのオンラインセミナーを6月26日（金）に開催することとなりました。ICTを活用した新しい学びのカタチと今後の展望について、活用事例も交え紹介します。



【通信制学校対象】
**ICTを活用した新しい学びの
カタチと今後の展望**

オンライン開催 6月26日(金) 15:30-17:00

<p>活用事例紹介 日々輝学園高等学校</p> <p>通信制学校における課題を、ICT教材で解決する方法</p> <p><small>日々輝学園高等学校 東京校 林教頭先生</small></p>		<p>活用事例紹介 わせがく高等学校</p> <p>通信制学校にICT教材を『使いつくす』『拡げる』</p> <p><small>わせがく高等学校 丸山教頭先生</small></p>	
---	---	---	---

すららネットは、「教育に変革を、子どもたちに生きる力を。」を企業理念とし、アダプティブな対話式 ICT 教材「すらら」を、国内では 約 1,200 校の塾、学校等に提供しています。全国の有名私立中高、大手塾での活用が広がる一方で、発達障がいや学習障がい、不登校、経済的困窮世帯を含む生徒に学習の機会を提供するなど日本の教育課題の解決を図ることで成長を続け代表的な EdTech スタートアップ企業として 2017 年に東証マザーズに上場しました。

AI×アダプティブラーニング教材「すらら」は小学校から高校までの国語、算数／数学、英語、理科、社会 5 教科の学習を、先生役のアニメーションキャラクターと一緒に、一人一人の理解度に合わせて進めることができるアダプティブな e ラーニング教材です。レクチャー機能、ドリル機能、テスト機能により、一人一人の習熟度に応じて理解→定着→活用のサイクルを繰り返し、学習内容の定着をワンストップで実現できます。初めて学習する分野でも一人で学習を進めることができる特長を生かし、小・中・高校、学習塾をはじめ、放課後等デイサービス等においても活用が広がっています。

「すらら」は全日制の中学校／高等学校に加え、通信制の学校でも幅広く利用されています。無学年式で、さかのぼり学習も先取り学習も自由自在にでき、一人ひとりに必要な学習を実現できることから、

NEWS RELEASE

さまざまな特性やバックグラウンドを持ち通信制学校への入学を選択する生徒にとって学びやすい教材として、生徒、保護者、教職員から評価を受けています。また、2020年3月から「すらら」では小中学校の理科・社会コンテンツの学習も可能となり、活用の幅が広がっています。

緊急事態宣言が解除となり学校が順次再開しても「新しい生活様式」を求められ、これまで通りの学校生活とは異なる対応を求められる中、引き続き生徒のみならず教職員にも多大な負担がかかることが予想されます。通信制学校においても、学力や学習歴の違いに応じ、一人ひとりに対する心のケアも含めたきめ細やかな対応がこれまで以上に求められる一方で、教職員の負担をこれ以上増やすことは難しい状況にあります。

このような状況を受け、すららネットでは通信制学校向けにセミナーを緊急開催することとなりました。「新型コロナウイルス対策によるオンライン授業の実施にあたり、eラーニングの活用を検討している」「生徒のレポート作成において、提出や質に課題を抱えている/ICTを横展開したいが、なかなか現場で広がりを実現できていない」「学力の幅が広く、個々の対応をすることに限界を感じている」といった課題を持つ通信制学校の教職員を対象に、一人ひとりの学生に合わせ個別最適化した学習を提供でき、同時に教職員の負担を最小限にできるeラーニング活用の実践事例に関する情報提供を行います。日々輝学園高等学校、わせがく高等学校における具体的な活用事例も紹介します。

すららネットは今後も、コンテンツの拡充や新サービスの拡大を図り、多様化する教育業界をサポートするとともに、学習者に新しい学習体験を届け、「大人になっても役に立つ真の学力」と「努力をすれば結果が出るという自信」を提供していきます。

■イベント概要

テーマ： ICTを活用した新しい学びのカタチと今後の展望

日時：2020年6月26日（金）15:30-17:00（オンライン開催）

対象：通信制学校の教職員ならびに教育関係者

講座内容：

1. アダプティブラーニング教材「すらら」の紹介
2. 導入校登壇による活用事例紹介
3. 「すらら」におけるフォロー事例
4. ディスカッション・質疑応答

■事例紹介

日々輝学園高等学校

通信制学校における課題を、ICT教材で解決する方法

日々輝学園高等学校

東京校 教頭 林 美雪先生



わせがく高等学校

通信制学校にICT教材を『使いつくす』『広げる』

わせがく高等学校

教頭 丸山 昌利先生



詳細・お申し込みは下記からご確認ください。 https://surala.jp/school/seminar/0626_online.html

<本件に関するお問合せ先>

株式会社すららネット 広報担当 北村 直子 e-mail : support@surala.jp

TEL : 03-5283-5158 FAX : 03-5283-5159 URL : <https://surala.jp/>